

GoogleMaps を利用した配色選択支援システムの構築

0432105 竹村 綾子

指導教員：柴橋 祐子 准教授 山崎 治 助教

1. はじめに

衣服や日用雑貨などの商品やパッケージには多数の配色があり、その中から個人がイメージする配色を検索するのは困難である。すでに、漠然としたイメージに適した感性語から配色を選択するシステム^[1]などが提案されている。しかし、これらのシステムでは多数ある配色を俯瞰的に捉えることが難しく、ユーザが配色同士の新たな関係に気づいたりする機会が少ないと考えられる。

2. 目的

本研究では、配色サンプルを一覧できる地図を作成し、直感的に操作ができるインタフェースを提供する。これにより、ユーザのイメージする配色を選択しやすくするアプリケーションシステムを構築する。このようなインタフェースを、GoogleMapsAPIを利用して作成していく。

3. システムの設計

感性語によって構成されたイメージ空間上に配色サンプルを配置した地図を作成する。この地図上の操作に GoogleMapsAPI により提供される機能を実装していく。

GoogleMapsAPI は、個人でカスタマイズした Google マップを、JavaScript を用いて掲載できるサービスで、個人のサイトなどに利用できる。このような API を利用することで、配色選択を支援する次の機能を実装していく。

1. 感性語からの配色（位置）の検索
2. 拡大縮小、上下左右の移動
3. マーカーをつけ、商品サンプルを表示
4. 地図の種類を切り替え

これらの機能を実装することで、似たような感性語・配色が発見しやすく、また具体的な商品サンプルを提示することで選択しやすくなると考えられる。

4. システムの実装

4.1 配色地図の作成

配色サンプルを配置する地図は、配色イメージスケール^[2]を参考にして作成した。GoogleMaps による拡大縮小機能にあわせ、解像度の異なる3種類の配色地図画像を作成した。作成した地図画像は、GmapImageCutter1.3を用いてタイル状に分割を行い、Web サーバ上に配置した。

各配色地図画像に配置した配色サンプル数および分割タイル数を表1に示す。

表1. 各解像度の配色サンプル数と分割タイル数の一覧

解像度	配色サンプル数 (感性語の数)	分割したタイル数
高	142	5461
中	63	341
低	33	21

4.2 インタフェース部の実装

本システムは GoogleMapsAPI を利用し、JavaScript により開発を行った。地図上の座標と配色や商品サンプル、感性語との対応を示すデータは、JSON 形式のファイルとして Web サーバ上に用意した。これにより、本システムを Internet Explorer, FireFox 等の一般的なブラウザ上で利用できるようにした。

図1に作成したシステムの画面を示す。



図1. システムの表示画面

5. おわりに

配色選択を支援する際、見やすく楽しむことのできるシステムが多くの人に好まれるのではないかと考えられる。そのためシステムを作る際、たくさんのサンプルをある基準によってソートして提示したり、ユーザの好みの配色を簡単に選択できる機能やデザインの工夫等が求められる。

参考文献

- [1] 南雲 治義, 「カラーコーディネーター」, グラフィック社, 2000.
- [2] 小林 重順, 「配色イメージワーク」, 講談社, 2002.